

近海で楽しむメッキ釣り

ギンガメアジ【アジ科】

ギンガメアジ(銀我眼鯧)という名にピンとこなくても「メッキ」という言葉に「おお〜っ」と言う人は少なくありません。ロウニンアジやカスミアジなどと同様、沖縄や小笠原などではポピュラーなルアーフィッシングのターゲットです。黒潮に乗って北上し初夏から晩秋にかけて沿岸や内湾に群れ、時には数百尾の塊になることもあります。大きさは30~50cm程度で、普通のアジに比べ体高があり丸みを帯びています。特徴は何とんでもメッキの名の通りピカピカに光ったボディです。そしてチャームポイントのごとくエラブタ上部に黒点がひとつあります。

若魚(メッキボディでなく褐色に薄い横縞模様)はハゼやアユを追いかけて河口等の汽水域で、成魚はイワシを狙って沿岸部で、フィッシュイーターらしく活発にルアーへアタックするのでビギナーにうってつけかも知れません。「ガツン」とヒットした後、魚の体重をさほど感じさせないものの糸鳴りがするほど凄いスピードでよく走るの、驚きと同時に新鮮な興奮を覚えるはず。ロウニンアジなど他の熱帯系回遊アジに比べ伊豆や相模湾でもよく見られるのでぜひ狙いたい魚です。

若魚でも味は上級。どんな調理法もOKですが、淡白なので半身を刺身にして、残りをソテーするのがオススメです。



今月のおススメ釣魚

【6月休日の潮回り】城ヶ島

2日(日)小	10:54満潮(115)	16:59干潮(71)
9日(日)大	11:00干潮(5)	17:56満潮(153)
16日(日)小	9:45満潮(118)	15:54干潮(68)
23日(日)大	10:36干潮(7)	17:34満潮(157)
30日(日)小	8:52満潮(124)	15:03干潮(62)

【こんな魚が釣れてます】

サバがあちこちで釣れるシーズンになりました。ゴマサバが多く、夏に向けて美味しくなります。アオリイカも1キロ超が増えてきました。写真右はメダイ、深場の美味魚です。



安全航行しましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月のギャラリー



海藻の敵? アイゴ



ファスナーは動きますか?

今月の出艇数

H25年4月16日~H25年5月15日

73艇

今月の夜間係留数

H25年4月16日~H25年5月15日

13艇

保管場所空き状況

平成25年5月25日現在

2艇

メンテナンスしましょう

船検の法定備品として搭乗人数分のライフジャケットがありますが、検査員の指摘が多いのがファスナーです。塩噛みで固着している物をよく見かけますので、普段使用せず船倉で眠っているジャケットを点検しましょう。一度固着すると回復しない場合が多く、ファスナー交換を余儀なくされるので、予防対策が必要です。プラスチック材質がほとんどなのでシリコンスプレー(CRCは不可)をかけて潤滑させる方法がお手軽ですが、最も長持ちするのがロウ(ワックス)のすり込みです。仏壇から拝借しても良いですが、マリンショップに塗布専用のロウが販売されていますので試されてはいかがでしょうか。塗りやすく保護力も高いです。

海の生物ワンポイント

アイゴ【アイゴ科】

浅い岩礁域で見られるポピュラーな魚です。毒ヒレのおかげでほとんどリリースされますが、「アイゴの皿ねぶり」という言葉通り塩焼きや煮つけで美味しく召し上がれます。ハラワタをつぶさないように取り除くのがポイントです。

トピックス

初夏の港内は幼魚のオンパレードですが、ヒラギ・アミメハギ・イシダイ・チャガラなど毎年ブレイクする魚種が変わります。昨年はアイゴだらけでした。アイゴは海藻の芽を食べ尽くすと言われ、そのせいか?今年はやカメが育ちませんでした。この夏はどんな魚がブレイクするでしょうか。ご来場の際は岸壁から覗いて見て下さい。

指定管理者からのお知らせ

営業時間変更のお知らせ

お待たせしました。6月から営業終了時間が1時間延長され午後6時までとなり、最終帰港時刻も午後5時となります。ゆっくと釣が楽しめる上、日が長いので遠征も可能になりますね。十分な燃料と、帰りのルートの風向きを考えて出船しましょう。気になるのが台風や前線です。念入りに天気予報と天気図を確認しましょう。海況や夜間係留に関しては、いつでもお気軽にお問い合わせ下さい。

お問合せは ☎ 0120-560982 (コールアキヤロ)

今月の事故

接触等	0	件
主エンジン停止	0	件
ガス欠	0	件